

令和7年度支援プログラム 案

ソラ

令和7年2月1日

事業所理念	ソラは様々な活動を通じて楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00~17:30 第2単位 9:00~17:00
支援方針	① 話し合い活動をすすんで取り入れ、自分の思いを伝える力、相手の話を聞く力を身に付ける。 ② 活動では「自分でする」ことを目標にスケジュールや準備、役割等、段取りする力を養う。 ③ 公共施設、交通機関でのルールやマナーを理解し、実践する。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域	ねらい	支援内容	
健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握 健康の増進	生活リズムの形成 季節に応じた着替え、水分補給 感染症予防、咳エチケット、マスクの着用 傘を差しての歩行の練習☆ 調理(長期休み中)☆ 散歩、ウォーキング等、運動の習慣付け 掃除、片付け等、身の回りの整理整頓
	生活リズムや生活習慣の形成	リハビリテーションの実施	
	基本的な生活スキルの獲得	基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える	
運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	ダンス、体操、エクササイズ(流行曲を用いる) ジョギング、ランニングで持久力の向上☆ サッカー、バドミントン、キャッチボール等球技 砂浜での歩行、レクリエーション
	姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用	
	保有する感覚の総合的な活用	感覚の補助および代行手段の活用 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	展望台散策や動植物鑑賞など、情操支援☆ 大縄などタイミングを図る運動
認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚や認知の活用 知覚から行動への認知過程の発達	家族へのプレゼントづくり☆ イベント外出先の観光マップの製作☆ 調理、工作等の道具を安全に使う練習☆ 時間や見通しを意識した活動☆
	空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得	店舗でのおやつ購入体験☆ 避難経路の確認、避難訓練
	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応	
言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援	挨拶、質問の練習等SSTの実施 自分の思いを伝える発表の時間☆ 活動内容等を決める話し合いの設定☆
	言語の受容及び表出	人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	
	コミュニケーションの基礎的能力の向上	指差し、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援	振り返り日記、絵日記 語彙を増やすため、説明の場の設定 読書、音読の機会の充実
人間関係・社会性	コミュニケーション手段の選択と活用	コミュニケーション機器の活用	
	他者との関わり(人間関係)の形成	アタッチメント(愛着行動)の形成 模倣行動の支援	店員等とのやりとりを想定した会話の練習☆ 公共交通機関を利用した外出☆ 百人一首などカードゲームを用いた活動
	自己理解と行動の調整	感覚・運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから協同遊びへの支援	交通ルールやマナーに対する支援☆ 図書館・博物館など公共施設の利用☆ カラオケやBBQなど集団活動を楽しむ体験☆
仲間づくりと集団への参加	自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援		
家族支援	ご家族のニーズを受け、家族(きょうだい)の困りごとを相談する場を設けたり、関係機関に繋いだりする等の支援を行う。		
職員の質の向上に資する取組	事業所の提供する支援の質を確保するため、年間計画に基づく事業所内研修の実施や、外部研修への派遣を行い、職員の質の向上を図る。		
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。